

# ひまねき

警固屋学園通信  
第65号  
27.10.13  
発行

## 「ドラゴンフライズ」がやってきた！ トップアスリート派遣事業

九月十五日(火)に、プロバスケットボールチーム「広島ドラゴンフライズ」の岡崎選手と仲摩選手が、警固屋学園にやってきました。この事業は、トップアスリートを小中学校に派遣し、児童・生徒の運動意欲の向上と運動技能・技術の習得を目的として行っています。

五年生と七年生が参加しました。児童・生徒は、まず選手の身長の高さに驚いていました。そして、バスケットボールを指導していただいたり、いっしょにゲームをしたりしたことを通して、プロの選手の技術の高さ、動きの速さに尊敬のまなざしを向けていました。プロの選手とバスケットボールをしたことは、児童・生徒にとって、たいへん貴重な体験となりました。選手からは、「自分の体を自分の思い通りにコントロールできるようになる」といいプレーにつながる。「自分の夢を持って、それを口に出さない。そうすれば夢は実現する。」と言われました。夢を叶えたドラゴンフライズの選手の言葉は、児童・生徒の心に響いたのではないかと思います。

### 小学生の感想

- ◇ ドラゴンフライズの選手二人が来られて体育の授業をしました。心に残っていることは「自分の夢を持ちなさい。」と教えてくださったことです。
- ◇ ボールをうまく扱っていてすごかったです。ジャンプすると中学校のバスケットゴールまで届いたのですごかったです。
- ◇ わたしは、「すごく背が高いなあ。」と思いました。「身長を高くするにはどうすればいいですか。」と質問したら「しっかり寝てしっかり朝ご飯を食べることで。」と答えてくださいました。



## 宇佐神社 清掃ボランティア実施！

九月十九日(土)に、中学生有志十七名による宇佐神社の清掃ボランティアを実施しました。

二十三日の宇佐神社の祭礼の前に、神社周りの落ち葉掃き、公園の草取りなど、朝八時三十分から約一時間、地域の方々とともに活動をしました。祭の前には、神社周りの清掃や職を立てる作業など大変な準備があり、地域みなさんのご苦労があることを知りました。これからもふるさと警固屋の一員として、地域に貢献できたらと思います。



## いじめ撲滅キャンペーン

十月十三日から十一月十三日まで、今年度二回目の「いじめ撲滅キャンペーン」期間です。「いじめゼロ」をめざして取組を進めます。

この写真は、十月六日の学園朝会の様子です。十月の生活目標を計画委員会の五・六年生が発表しています。



十月の生活目標は、「ともだちと えがおい つばい いじめなし」です。これは小学校で、一学期の終わりに、いじめをなくすための標語を全校児童から募集し、最優秀作品に選ばれた二年生の宇根大翔君の作品です。この作品には、「友だちと仲良く遊ぶととてもうれしくて笑顔があふれてきます。そのことがずっと続いてほしい」という願いがこめられています。

これから各学年で具体的な目標を決めて取組を進めていきます。また、委員会活動で、子どもたちが主体的に活動を行っていきます。（いじめをテーマにした本の読み聞かせを行う。ほめほめポストを活用して友だちのいいところみつつけをする等）

警固屋学園からいじめをなくし、みんなが明るい気持ちで過ごせるように取り組んでいきます。

## 小中乗り入れ授業を行っています

警固屋学園では、中学校の教員が、小学生に授業をする「乗り入れ授業」を行っています。普段は、小学校五・六年生の音楽と外国語活動の授業を行っています。

九月から、六年生は、算数の乗り入れ授業を行い、「速さ」「比例と反比例」の学習をしています。この「乗り入れ授業」を通して、中学校の授業の雰囲気慣れ、中学校進学へとうまくつなげていきたいと思えます。



## ホッと・ハート・メモ

九月二十日（日）には、警固屋地区敬老会「アトラクションの部」に、警固屋小学校三・四年生十数名が、運動会で演技した「よつしやこい踊り」を地域の同好会の皆様と一緒に披露しました。楽しそうに踊ることができました。

二十一日（月）には、「敬老の日」の式典に参加させていただきました。

警固屋小学校四年生四名は、常楽園で、警固屋中学校生徒会は、保生院でそれぞれ一日園長の委嘱状を手渡され、式典で挨拶をしたり、記念品を渡したりしました。緊張感の中よい体験をさせていただきました。アトラクションで尺八と琴の生演奏を聴いたり、施設の方と一緒に合唱したりした後、会食にも参加でき、児童は喜んでいました。

いつも地域の方々にお世話になります。ありがたいことだと感謝しています。

